



# 大野やすし市政報告



〒343-0806 越谷市宮本町1-94-3 電話/FAX 048-940-0155  
 携帯 080-3300-8100 [アドレス y.ohno2335@themis.ocn.ne.jp](mailto:y.ohno2335@themis.ocn.ne.jp)

2/28~5/3 越ヶ谷宿場まつり！  
 (雛めぐり・甲冑めぐり)



越谷市3月定例会は、2/26~3/17まで開催され、平成27年度予算案を含む市長提出議案50件などが審議されています。今回の市政報告では私の12月定例会での一般質問を紹介します。一般質問では、①越谷市における行財政改革について（職員の定員管理の適正化及び財源確保の取組について）②庁舎建設について（現状及び今後の課題と取組について）③シラコバトなど越谷固有の貴重な動植物について④地元産業の振興について（越谷ねぎのブランド化と農業後継者の育成、越ヶ谷ぐるぐるグルメ及び北越谷まちバルの取組について）市長に見解を問いました。概要と私の見解は以下のとおりです。市民のみなさんが感じる、市政についてのご意見・ご要望、遠慮なく、私にお聞かせください。

HPリニューアルしました。検索エンジンでy-ohno.jpと入力してください。FB、ツイッターもよろしくお願いします。



子育て父ちゃん政治チャレンジ！  
 「マイ・ホームタウン越谷」づくり

検索:  検索

これまでの市政での取組みがよくわかる

パソコンの検索で「y-ohno.jp」と入力ください

今の動きがよくわかる



大野やすしと入力して友達申請

## 1 越谷市における行財政改革について（職員の定員管理の適正化等）

中核市等における平成25年度と平成21年度の職員数の差（普通会計職員数による）

団体名	普通会計職員数		平成25年度 H25-H21	平成25年度 1万人当 り住基人口	1万人当 り職員数	中核市移行年度
	平成21年度	平成25年度				
中核市平均	2,705	2,495	-210	404.215	61.73	
高崎市	2,153	2,158	5	374.655	57.60	23年度
豊中市	2,602	2,520	-82	397.334	63.42	24年度
那覇市	2,119	2,067	-52	320.889	64.41	25年度
枚方市	2,190	1,988	-202	408.966	48.61	26年度
越谷市(25年度)	1,808	1,936	128	330.428	58.59	27年度予定
越谷市(26年度)		1,971		331.565	59.45	
越谷市(27年度)		2,059		334.600	61.54	見込み

※1 普通会計とは、一般会計と特別会計のうち、公営企業会計を除いて、とりまとめた会計のことで、地方自治体の財政の比較する場合の基本。普通会計職員数とは、その普通会計の事業にかかわる職員数で、当該自治体の総職員数とは異なる。

※2 平成25年度の中核市合計及び平均は、平成21年度から相模原市、熊本市を除き、高崎市、豊中市、那覇市を加えた42市の中核市の数値。

※3 越谷市の平成27年度の想定は第4次総合振興計画の人口推計値と平成26年度の職員数に88人加えたものとした。

現市政においては、今回の88人増員すると、平成23年度から376人の職員が増加することになります。市は平成23年度からの第5次行政改革で約18億円の財政効果をもたらしたとしていますが、この間の職員増に対する人件費の増加は、約28億円です。また、中核市移行にあたって、既存の組織を見直すことなく、単純に職員の増員だけ行うのは、他の中核市にない特徴です。この急激な職員増に対する歯止めの必要性について質問しました。

## 2 庁舎建設について（現状及び今後の課題と取組）



2 月末竣工の市役所  
第三庁舎

平成 24 年 9 月定例会で突如提案され、中核市として必要な面積も 90 ㎡しかないが、中核市移行に間に合わせるためということで、急ぎよ建設が進められた第三庁舎が、2 月末に竣工しました。また、耐震性が脆弱な本庁舎についても、去る 9 月末に審議会の答申が出され、基本構想がとりまとめられました。そこで、庁舎建設について、現状及び今後の課題と取組について質問しました。最短では、平成 27 年度中に基本計画の策定、その後基本設計及び実施設計を行い、平成 29 年度から新たな本庁舎の建設等に着手し、平成 32 年度の工事完了を目標としているということでした。オリンピック特需で建設費が約 3 倍にも高騰している中、建設には適切な時期を選ぶよう示唆させていただきました。

## 3 シラコバトなど越谷固有の貴重な動植物について



繁殖に成功した野鳥の森  
公園の「シラコバト」

越谷のシラコバトは国の天然記念物として指定され、越谷市民が誇るべき、越谷固有の特徴を示す貴重な鳥だと思えます。ところが、市内でのシラコバト発見報告数は平成 9 年度の 286 件に対し、平成 24 年度は 27 件と大きく減少しており、市では平成 24 年度から埼玉県と連携し、シラコバトの保護に取り組んでいます。そんな中、昨年 10 月、市内のキャンベルタウン野鳥の森では、初めて繁殖に成功し、11 月下旬から公開されています。私は、シラコバトなど地元固有の動植物を、市民が身近に接することができることが越谷を誇りの持てるまちとして築くポイントのひとつと考え質問しました。

## 4 地元産業の振興について（越谷ねぎ、越ヶ谷ぐるぐるグルメ、北越谷まちバル）



鴨ねぎ鍋と越谷ねぎフェア

・越谷の農業就業人口は平成 17 年から 22 年の間に 1,971 人から 1,428 人と約 3 割減少しており、高齢化が進んでいます。市は、これまでいちご団地などで越谷産の農産品のブランド化を進めてきましたが、今回は「一本ねぎの横綱」越谷ねぎのブランド化です。越谷ねぎは千寿ねぎとして出荷されるねぎの横綱なのに市内に生産者は 5 軒しかありません。後継者づくりも含め、みんなで越谷野菜を食べて地元農業を応援しましょう(^o^)



越ヶ谷ぐるぐるグルメ



北越谷まちバル

・地元商店街の飲食店と新たな顧客との出会いの場となっているまちバル「越ヶ谷ぐるぐるグルメ」（3 回目）と「北越谷まちバル」（1 回目）について、質問しました。私も 11 月の期間中、何店かお邪魔しましたが、お客さんとの新たな出会いの場となっていることを高く評価する一方、まだまだ、市民の中に浸透していません。今後も、一層浸透するよう、地元商店街振興を支援していきます。

### 大野やすしの3つの主張

「マイ・ホームタウン越谷」の実現に向けて

- 誇りを持てるまち越谷を築く
- しぶとい日本人の再生を目指す
- 簡素で効率的な行政体制を創りあげる

### 経験から取組む5施策

- 1 子ども・教育施策の推進
- 2 まちづくり・経済産業施策の展開
- 3 危機管理施策の強化
- 4 観光を通じた伝統・文化の活性化
- 5 行財政改革の徹底

### 経歴

S38 宮本町生まれ、越ヶ谷小、中央中、越ヶ谷高、明治大学政経学部卒

S62～H23 東京都職員（建設、行革、防災等）、元越ヶ谷高校同窓会副会長

H23.4 越谷市議初当選

### 家族

父、母、妻、3 男 1 女の 8 人家族